

## 概要報告

田主丸大塚古墳は久留米市東部の東西に連なる耳納山地の北麓の扇状地に立地し、眼下に筑後川中流域の平野部を一望できる位置にある。周辺には古墳群や寺社などの文化財や果樹園が多く、歴史探訪や観光農園等で賑わいを見せている。史跡地の面積は約 1.25ha である。

田主丸大塚古墳は国指定史跡（約 1.25ha）であるが、前方後円墳が大きく改変され、地形的に雨水が集中し溢れやすく、来訪者や地域住民が立ち寄りにくい状況であった。本設計では、これらの問題を改善するために①古墳再現による史跡価値の創出、②地域の雨水対策への寄与する排水手法の提案、③地域活動や観光振興の拠点となる古墳公園の整備を目指し、雨水対策と公園整備との一体化にチャレンジした。